

●梱包別部品一覧表

扉を組み立てるには次の部品が必要です。
梱包内の部品数を確認の上、組立順序にしたがって組み立ててください。

梱包番号 H1-4680(4780)

品番部	品名	数量
71	壁面扉枠左S(H)	1
72	壁面扉枠右S(H)	1
73	壁面扉鴨居/K-4	1
74	壁面扉敷居/K-4	1
	扉枠カバーS(H)	2
M 6	ボルト	4
部	トラスラッピングS4x10	4
品	戸車調整用ボルト	2
袋	ボルトキャップN/GR	8
組立説明書		1

梱包番号 H1-4681(4781)

品番部	品名	数量
33	正面パネルS(H)	1
34	扉 中 S (H)	1
35	扉 前 S (H)	1
	正面パネルカバーS(H)	1
	扉 内 壁 C S (H)	1
	扉 内 壁 D S (H)	1

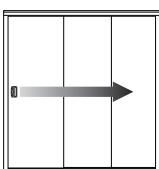
※()内は、Hタイプを示す。

(注)部品袋に入っているボルト類は本体部品箱の不足分です。

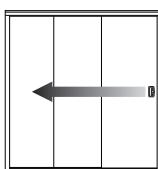
●品番が白抜き番号の部品には製造番号が打ってあります。
組立のとき、万一不具合が起きた場合は、必ずその部品の製造番号を確認の上ご連絡ください。

■扉を逆開きにする方法

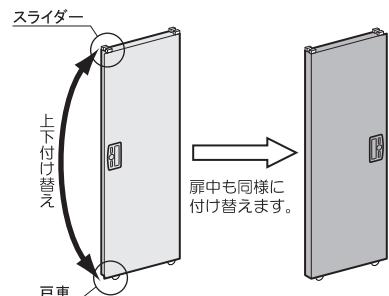
扉は標準(工場出荷時)では、左開きにセットされています。



左開き(標準)



※右開き(下記参照)

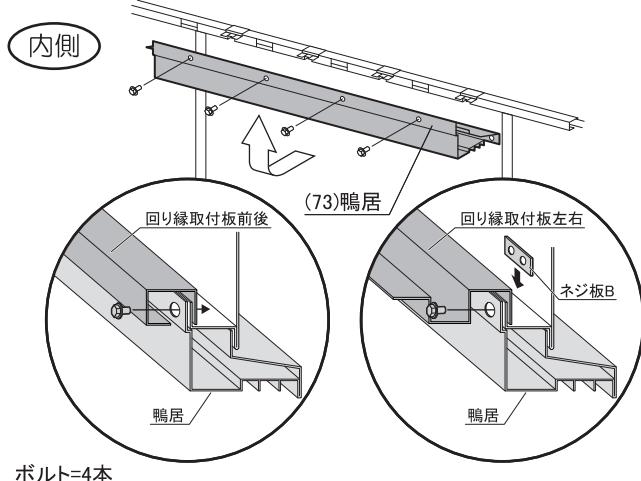
扉中も同様に
付け替えます。

右開きにする場合は、

- ①「2.敷居取付」で敷居のネジ止めを反対にします。
- ②「5.正面パネル取付」で正面パネルを反対に取り付けます。
- ③「6.扉取付」で扉の戸車とスライダーを上下付け替え、扉を上下逆にして取り付けます。(上図参照)
【扉枠右に付いている鍵穴パッキンを扉枠左に付け替えます。】

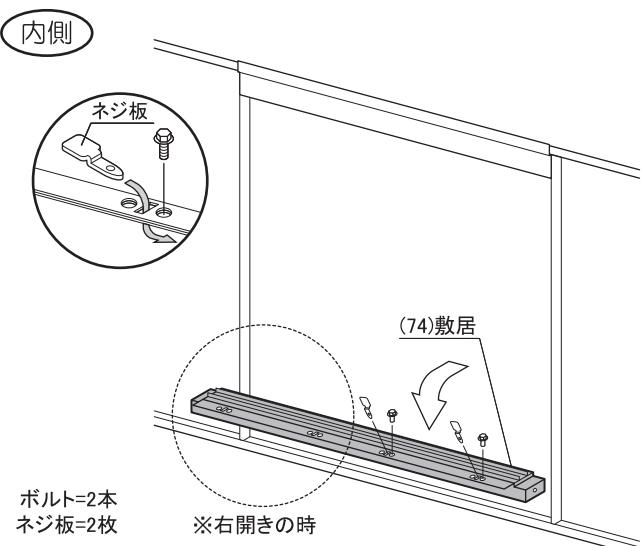
1.鴨居取付

(73)鴨居をボルトで回り縁取付板前後と共に締めします。
※扉を側面に取り付ける場合、回り縁取付板左右にネジ穴がない箇所はネジ板Bを使用してください。(ネジ板Bは本体の部品箱に入っています。)



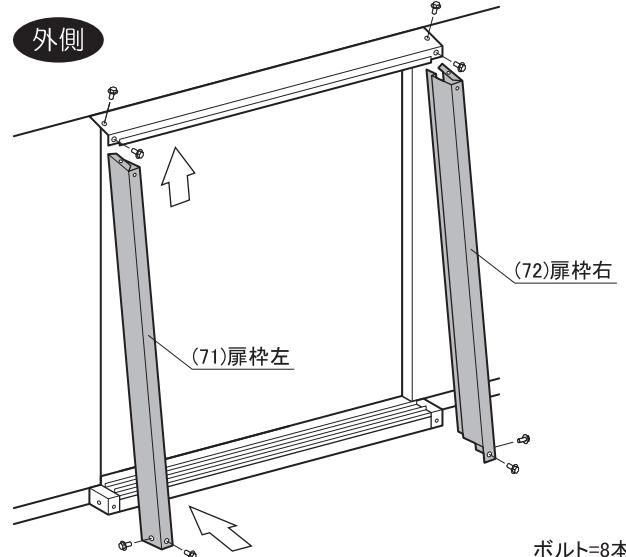
2.敷居取付

(74)敷居を土台にボルトとネジ板で2ヶ所取り付けます。
※右開きの時は、点線内位置で固定してください。



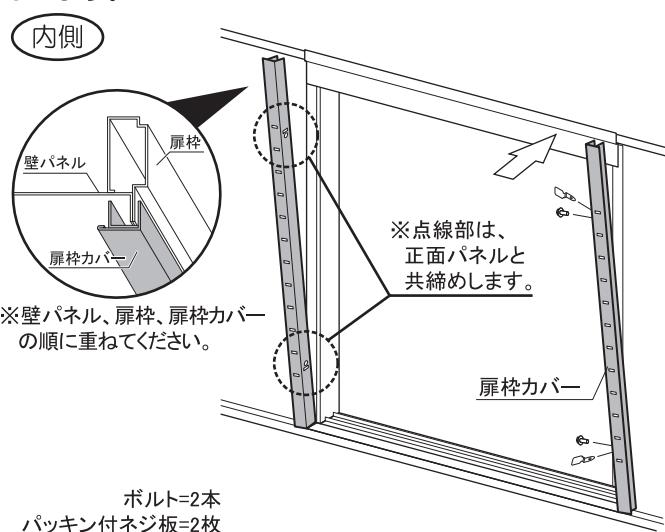
3.扉枠左右取付

(71)扉枠左、(72)扉枠右を鴨居と敷居にボルトで取り付けます。



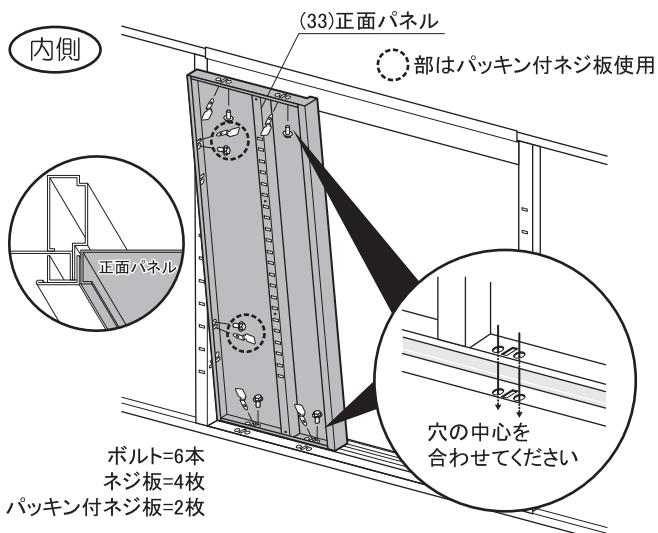
4.扉枠カバー取付

扉枠カバーをボルトとパッキン付ネジ板で扉枠と共に締めします。



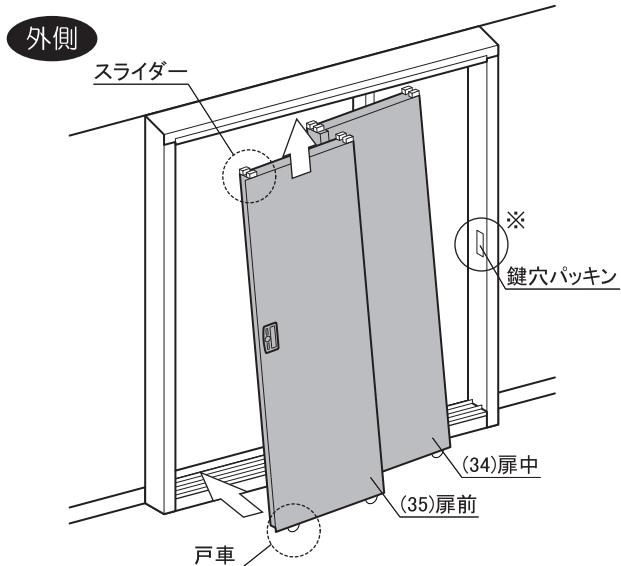
5.正面パネル取付

(33)正面パネルは正面パネルカバー、扉内壁をいったん取り外し、ボルトとネジ板で取り付けます。
※右開きの時は、正面パネルを右側に取り付けます。
※正面パネルと鴨居、敷居の穴の中心を合わせてください。



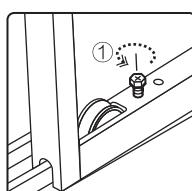
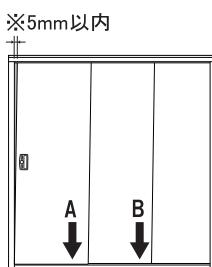
6.扉取付

(34)扉中・(35)扉前の順にスライダーを鴨居のレールに差し込み、戸車を敷居のレールにのせ扉をはめ込みます。
※右開きの時は、鍵穴パッキンを反対側に取り付けます。



★戸当たり調整

扉を閉めて下図のようにスキマが出来た場合は、A・B部の戸車を①②③の手順で調整してください。

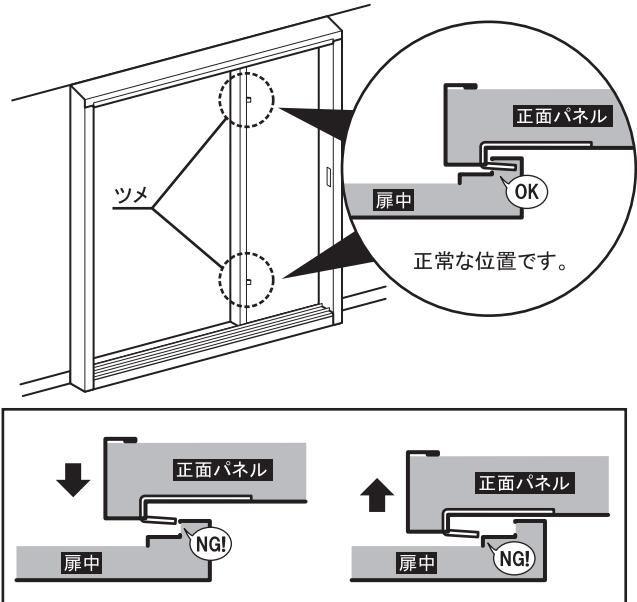


※5mm以内
①戸車を固定しているボルトを4~5回転ゆるめる。
②部品箱内の戸車調整用のボルトで戸当たりを調整する。
③最初にゆるめたボルトを締め付ける。

※5mm以上のスキマや上記の要領で調整できない時は、土台の水平を直してください。

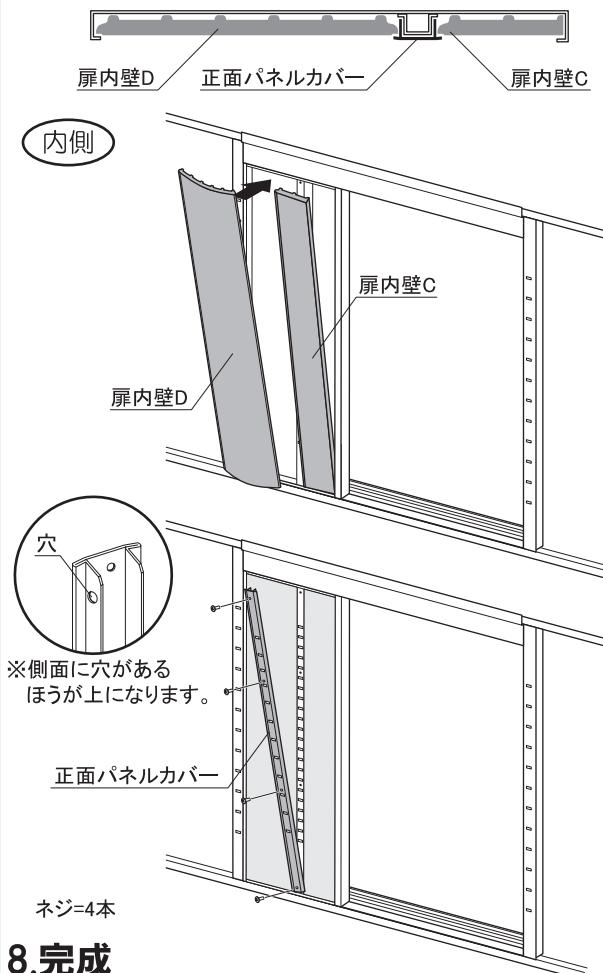
★正面パネルの調整

戸当たり調整後、鍵がかかることを確認してください。鍵がかからない場合は正面パネルのツメが扉中と干渉している可能性があります。下図を参考に、正面パネルを矢印の方向に調整してください。



7.扉用内壁の取付

下図を参考に正面パネルに扉内壁CとDを入れ、正面パネルカバーをネジで中補強に取り付けます。
(正面パネルカバーの上下に注意してください。)



8.完成

外に出ているボルトにボルトキャップを取り付け完成です。
●錠の操作方法については、本体の取扱説明書をご覧下さい。